

第3章 チーム

(TEAMS)

第4条 チーム

(Teams)

4-1 定義

- 4-1-1 チームメンバーとして認められるためには、大会主催者が定める大会規定に明記されている条件（年齢制限を含む）を満たしていなければならない。
- 4-1-2 チームメンバーは、ゲーム開始前にその氏名がスコアシートに記入されていれば、そのゲームに出場することができる。ただし、失格・退場を宣せられるか5個のファウルを宣せられた場合は、それ以降そのゲームに出場することはできない。
- 4-1-3 競技時間中、チームメンバーとは以下を指す：
- ・プレーをする資格があり、コート上にいるプレーヤー。
 - ・プレーをする資格があり、コート上にいない交代要員。
 - ・5個のファウルを宣せられ、プレーをする資格を失ったチームメンバー。
- 【補足】5個のファウルを宣せられプレーをする資格を失ったチームメンバーは、以降そのゲームに出場することはできないが、チームベンチに座ることは許される。
- 4-1-4 プレーのインターバル中は、プレーをする資格があるチームメンバーは全てプレーヤーであるとみなされる。

4-2 ルール

- 4-2-1 各チームの構成は、次のとおりとする：

【補足】国内大会における以下の人数等は大会主催者の考えにより変更することができる。

- ・キャプテンを含む、プレーをする資格のある12人以内のチームメンバー。
 - ・1人のヘッドコーチ。
 - ・チームベンチに座ることを許された、アシスタントコーチを含む最大8人のチーム関係者。
- 2人のアシスタントコーチを置く場合、スコアシートにはファーストアシスタントコーチが記入される。

- 4-2-2 競技時間中は、各チーム5人のチームメンバーがコート上でプレーをし、交代することもできる。

- 4-2-3 以下のとき、交代要員はプレーヤーとなり、プレーヤーは交代要員となる：

- ・審判が交代要員をコートに招き入れる。
- ・タイムアウトもしくはプレーのインターバル中、交代要員がタイマーに交代を申し出る。

【補足】国内大会においてはスコアラーに交代を申し出る。

4-3 ユニフォーム

【補足】国内大会におけるユニフォームの規定は「JBAユニフォーム規則」に準じる。

2024バスケットボール競技規則（2024年4月1日） 抜粋

P. 16 『第3章チーム 第4条チーム 4-3ユニフォーム』

4-3-1 全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：

- ・シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。

シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。

全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められている。

【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。

- ・シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。

- ・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。

パンツの裾は膝より上まででなければならない。

- ・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。

ソックスは見える状態でなければならない。

【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。

4-3-2 各チームメンバーはシャツの前面と背面に、シャツの色とはっきりと区別できる色で整数の番号をつける。

番号ははっきりと見えるもので、そのうえで：

- ・背面の番号の高さは16cm以上とする。

- ・前面の番号の高さは8cm以上とする。

- ・番号の幅は2cm以上とする。

- ・番号は0、00および1から99のいずれかを用いる。

【補足】同一チーム内において、「0」と「00」は同時に使用することができる。

- ・チーム内で異なるプレーヤーが同じ番号を用いてはならない。

- ・ユニフォームに広告や商標、ロゴマーク等をつける場合は、番号から4cm以上離れていないなければならない。

【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。

4-3-3 各チームは、シャツを2セット以上用意しておかなければならない。

【補足】「2セット以上」とは濃淡それぞれ2セットである。ただし国内大会においては、大会主催者の考えにより決定することができる。

そのうえで：

- ・プログラム上で最初に記載されているチーム（またはホームチーム）は淡色のシャツを着用する。
(白色が望ましい)

- ・プログラム上で2番目に記載のあるチーム（またはビジターチーム）は濃色のシャツを着用する。

- ・ただし、両チームの話し合いで双方が了解した場合は、シャツの色の濃淡を交換することができる。

JBAユニフォーム規則（2020年11月1日一部改定） 抜粋

P. 1

公益財団法人日本バスケットボール協会 ユニフォーム規則

第1節 総則

第1条〔目的〕

本規則は、国内で開催される公式競技会および準公式競技会(以下「試合」という。)における、当該試合に出場するチーム(以下単に「チーム」という。)に所属するプレーヤーおよび交代要員(以下「チームメンバー」という。)が着用するユニフォームに関する事項について定める。

第2条〔適用除外〕

- 1 本規則の定めにかかわらず、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグもしくは一般社団法人ジャパン・バスケットボールリーグに所属するクラブの保有する(ユースチームを含む)チームまたは一般社団法人バスケットボール女子日本リーグに所属するチームの、試合における着用ユニフォームについては、各リーグにおいて個別にユニフォームに関する規定を定めている場合、当該規定に従うものとする。
- 2 本規則の定めにかかわらず、3x3競技の試合における着用ユニフォームについては、各試合の大会要項に従うものとする。

第3条〔ユニフォームの定義〕

本規則における「ユニフォーム」とは、試合中にチームメンバーが着用する「シャツ」、「パンツ」および「ソックス」のことをいう。ユニフォーム以外のウォームアップウェア、トラックスーツ、その他これに類する着用品については、当該試合時点における最新のバスケットボール競技規則(以下「競技規則」という。)および大会要項によるものとする。

第4条〔ユニフォームの着用〕

- 1 チームメンバーは、国内で開催される試合において、本規則に則り作成されたユニフォームを着用しなければならない。
- 2 前項のユニフォームは、対戦するチームを明確に識別できるものでなければならず、また、同一チームに所属する全てのチームメンバーが同じデザイン(形状、色および模様)のものを着用しなければならない。

第5条〔ユニフォームの製作〕

- 1 チームは、第7条に定める淡色のユニフォームおよび濃色のユニフォームを各2セット以上用意しておかなければならぬ。
- 2 前項の規定にかかわらず、国内で開催される試合においては、主催者の判断により、チームの用意すべきユニフォーム数を決定することができる。

第2節 ユニフォームのデザイン

第6条〔ユニフォームの形状〕

- 1 シャツに袖がある場合は、肘より上の長さのものでなければならず、長袖は認められない。
- 2 パンツの丈は膝より上の長さでなければならず、膝頭に懸かる丈のパンツは認められない。
- 3 ソックスは、特に長さの指定はしないが、シューズから見える状態でなければならない。

第7条〔ユニフォームの色の区分〕

- 1 ユニフォームの色は、「淡色」または「濃色」に区分され、「淡色」とはシャツおよびパンツの色が白色または白色を基調とした淡い色合いのものをいい、「濃色」とはシャツおよびパンツの色が白色以外の濃い色合いのものをいう。
- 2 同一の大会において、同じユニフォームを「淡色」および「濃色」として両用することは認められない。

JBAユニフォーム規則（2020年11月1日一部改定） 抜粋

P. 2

第8条[シャツおよびパンツの色]

- 1 シャツおよびパンツの色は、前面および背面の主となる色が同じ色でなければならない。
- 2 対のシャツおよびパンツの色は、主となる色が同じ色でなければならない。
- 3 シャツおよびパンツの色に「ゴールド(金色)」または「レモンイエロー(黄色)」などの淡色・濃色の判別がつき難い色を用いる場合は、次の各号の条件を満たさなければならない。
 - (1) 濃色として用いる場合は、相手チームが着用する淡色のユニフォームと明確に識別できる濃い色合いのものでなければならない。
 - (2) 淡色として用いる場合は、相手チームが着用する濃色のユニフォームと明確に識別できる淡い色合いのものでなければならない。
- 4 シャツおよびパンツの色に「グレー(灰色)」または「シルバー(銀色)」を用いることは認められない。ただし、第9条に定める選手番号および別表3に定める切替部の範囲においては、これらの色を用いても差し支えない。

第9条[ソックスの色]

ソックスの色は、シャツおよびパンツと異なる色であっても良いが、全てのチームメンバーのソックスの主となる色が同じ色でなければならない。

第10条[選手番号]

- 1 シャツの前面および背面には、シャツの色と異なり、明確に識別できる色で各チームメンバーに割り当てられた番号(以下「選手番号」という)を付けなければならない。なお、パンツに選手番号を付けることはできない。
- 2 選手番号は、「0」から「99」までの整数および「00」のいずれかの数字を使用するものとし、「01」または「02」など、「00」以外の先頭に「0」を付けた数字を使用することはできない。また、同一チーム内において、異なるチームメンバーが同じ選手番号を使用してはならない。
- 3 選手番号を付ける位置等の詳細は、別表1のとおりとする。
- 4 選手番号の位置、サイズおよびデザインは、全てのチームメンバーで統一しなければならない。

第11条[ユニフォームに付けることができるもの]

- 1 選手番号以外でユニフォームに付けることができるものは次の各号のとおりとし、その位置、サイズおよびデザインは、全てのチームメンバーで統一しなければならない。また、いかなる場合であっても、ユニフォームの色または選手番号を判別し難くなるサイズやデザインのものは認められない。
 - (1) チーム名
 - (2) チームロゴ
 - (3) 製造メーカー名
 - (4) 都道府県・都市・地域名
 - (5) チームメンバー名
- 2 前項のものを付けることができる位置等の詳細は、別表2のとおりとする。
- 3 チームは第1項の規定にかかわらず、次節の規定に従い、ユニフォームに広告(チーム名以外の団体名もしくは個人名、またはその商品の告知・販促を目的とした表記)を表示することができる(以下、「ユニフォーム広告」という。)

第12条[ユニフォームの模様]

ユニフォームの模様を施すことができる位置等の詳細は、別表3のとおりとする。

JBAユニフォーム規則のQ & A 抜粋

P. 1

ユニフォームとプレーヤーが競技中に身につけられるものに関するQ&A 【2021.3.1 更新版】

【規則の適用時期に関するQ&A】

Q.1	新ユニフォーム規則の適用はいつからですか？
A.1	2020年4月1日から適用となります。 ただし、第10条1項の「なお、パンツに番号を付けることはできない」という部分と、第11条2項の別表2の規定に関しては、2020年4月1日から2023年3月31日までの3年間は移行期間とし、その期間内であれば旧ユニフォーム規則で作成されたユニフォームで試合に出場することは可能です。
Q.2	3x3競技のユニフォーム規則を教えてください。
A.2	3x3競技の試合における着用ユニフォームについては、各試合の大会要項に従うものとしております。 出場される大会の要項をご確認いただくか、大会主催者にご確認ください。

【ユニフォームのデザインに関するQ&A】

＜第1節 総則（第1条～第5条）に関する規定について＞

Q.1	淡色と濃色のユニフォームを各2セット以上用意する（第5条1項）とはどういうことですか？
A.1	淡色と濃色のユニフォームを試合で着用するユニフォーム以外にもう1着ずつ用意していることが望ましいとしております。国内大会では大会主催者の考えにより用意すべきユニフォーム数を決定することが出来ますので、出場される大会の主催者にご確認ください。
Q.2	リバーシブルのユニフォームを着用することは認められますか？
A.2	JBA主催大会ではリバーシブルのユニフォームは公式のユニフォームと認められていません。 JBA主催大会以外では、大会主催者が大会要項に明記している場合は着用可能です。出場される大会の主催者にご確認ください。 ※JBA主催大会は第13条2項に記載の(1)～(5)の大会です。

＜第2節 ユニフォームのデザイン（第6条～第12条）に関する規定について＞

Q.1	パンツの丈は膝より上の長さでなければならず、膝頭に懸かる丈のパンツは認められない（第6条2項）とありますか？この規定はU12カテゴリーでも適用されますか？
A.1	U12カテゴリーでは、身体成長の著しい時期であるため、国内大会での規則の適用は行いません。 ただし、国際親善大会の場合は（日本国内開催であっても）、規則にできるだけ沿うような長さのパンツを着用することが望ましいです。
Q.2	ソックスが「見える状態」とはどういうことですか？（第6条3項）
A.2	バスケットシューズからソックスが見える状態のことを指します。足首のサポーター等でソックスが見えない状態は特に問題ありません。
Q.3	ソックスの色は揃えなければならないのですか？
A.3	ユニフォームのシャツやパンツと異なる色で良いですが、チームでソックスの主となる色を揃えなければなりません。（第9条）
Q.4	シャツとパンツで主となる色が異なるユニフォームを作成しても良いですか？
A.4	対のシャツおよびパンツの色は、主となる色が同じ色でなければなりません。（第8条2項参照）
Q.5	チームで1人だけユニフォームの素材が違います。素材が異なるユニフォームを着用しても問題ありませんか？
A.5	ユニフォームの素材に関する規定はありませんので、着用しても問題ございません。
Q.6	パンツに選手番号を付けてはならないのですか？別表3に掲載の切替幅内であれば問題無いでしょうか？
A.6	パンツに番号を付けることはできません。（第10条1項）しかし、切替幅内であれば可能です。
Q.7	チーム名がパンツ（切替幅内）に入っているのですが、規定違反になりますか？
A.7	パンツに付けられないと規定されている【チーム名、都道府県・都市・地域名、チームメンバー名】ですが、別表3に掲載の切替幅内であれば付けることは可能です。切替幅外に付いている場合は規定違反になります。

JBAユニフォーム規則のQ & A 抜粋

P. 3

【プレーヤーが競技中に身につけるものに関するQ&A】

Q.1	マウスガードの色や素材に関する規定はありますか？
A.1	無色透明なものという指定がございます。
Q.2	テーピングの色はチームで揃えなければならないのでしょうか？
A.2	テーピングはチームで色を揃える必要が無いものです ※競技規則では「同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは全て同じ単色でなければならない。」と記載がございますが、国内大会においては、テーピングは色を揃えなくていいものいたします。
Q.3	「サポーター」と「装具」の違いを教えてください。
A.3	「装具」とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。「サポーター」はスポーツショップなどで市販されている関節や局部を保護するものです。
Q.4	ユニフォームのシャツの下にシャツ状のものを着用しても良いですか？
A.4	ユニフォームのシャツの下にシャツ状のものを着用することは、いかなるスタイルであっても認められません。
Q.5	手袋（手甲）を着用して試合に出場しても良いですか？
A.5	着用して出場しても問題ありません。チームで色を揃える必要があるものですのでご注意ください。
Q.6	ソックスのかかとの部分が白色で他の部分は黒色なのですが、この場合はチームで何色で揃えれば良いですか？
A.6	ソックスの大部分を占めている色を主となる色と考えていただければと思います。

参考資料

サンプルⅠ



- ①主となる色（下地）は黒。
- ②ワンポイントの位置、色が異なっているがチーム内で混在していても良い。
(例えば…ナイキとアディダスなど異なるメーカーのソックスが混在するケースなど)

サンプルⅡ



- ①主となる色（下地）は黒。
- ②同じメーカーだが、デザイン（模様）がワンポイントではない、かつ、
色が異なるためNG。（ワンポイントとは異なる。）
- ③どちらか一方でチーム内で統一する場合は問題なし。

その他

- ①いずれにしても主となる色（下地）はチーム内で統一することが原則。
- ②『シューズから見える状態』を厳守していれば、ソックスの長さがチーム内で
異なっていても良い。
- ③判断が難しいケースやご不明な点は、支部審判長にお問い合わせください。

(支部審判長⇒U12連盟審判部長にて確認・回答)